


子どもの日本語教育研究会
第2回大会



南の星小学校の

外国につながる子供の指導
～特別な支援が必要な子供の現状と課題～

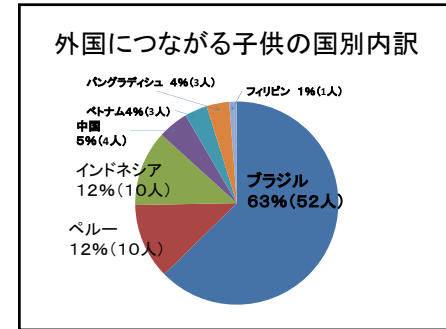
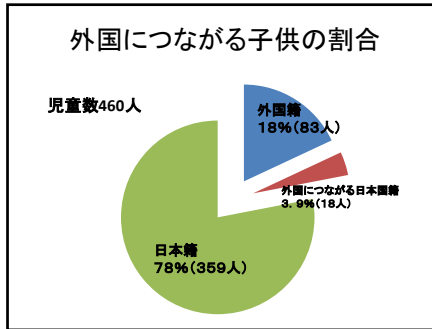
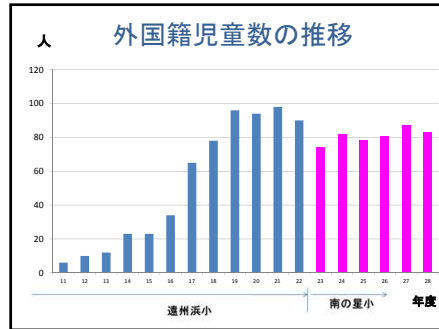
平成29年3月11日(土)



平成23年4月1日
浜松市立五島小学校と浜松市立遠州浜小学校が
統合し、浜松市の107校目の小学校として開校
今年が開校6年目

校区の様子

- ・南区 浜松市南部で海に近い
- ・田畑が多い田園地帯と新興住宅地域
(エシヤレットの栽培で有名)
- ・遠州浜地区に公営住宅があり、外国人
家族が多く在住
- ・五島地区は三世代同居家庭が多い



最近の傾向

- ・多国籍化(7か国)
- ・宗教上の配慮
➡ 服装、食事、体育・音楽の授業など
- ・日本生まれ日本育ち
日本の幼稚園保育園卒
➡ 日常会話はある程度できる児童が多い

教育委員会による多言語対応支援

<通訳配置>	<翻訳文作成>	
○ポルトガル語	・ポルトガル語	ポルトガル語
・スペイン語	・スペイン語	
・中国語	・中国語	やさしい日本語
・英語	・英語	
・インドネシア語	・インドネシア語	
・ベトナム語	・ベトナム語	
	・タガログ語	

三ヶ園浜、家庭訪問、保護者会など | 学年日より成績表 いるいるな提出書類 など

外国人児童の抱える困難

- <言語> ・日本語がよくわからない
・母語がきちんと身に付いていないことも・・・
・思考する言語は？
- <学習> ・学習の抜け落ち
・日常会話はできても学習言語が不足し
授業についていけない
- <環境> ・文化・習慣・価値観の違い
・複雑な家庭環境
・経済的な困難

外国人児童の学習面での課題

在籍学級の授業が理解できない

日常の会話はできて学習言語能力が十分でない子どもが多い

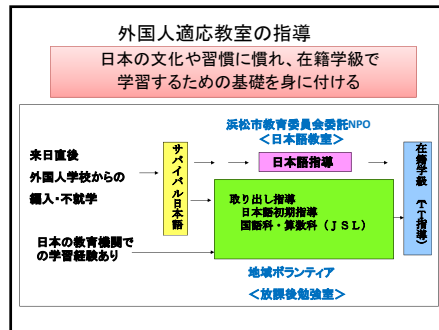
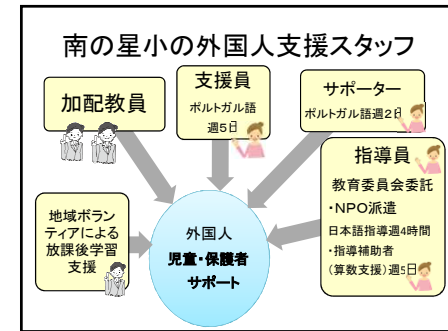
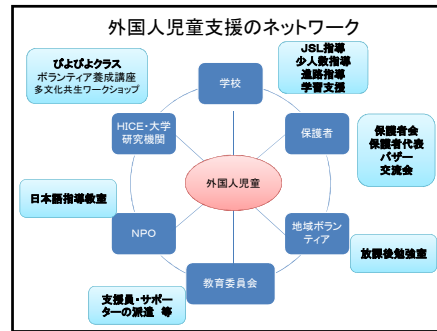
国語は難しい漢字が覚えられない。

テストで点がとれない。どうでもいいや。

先生の説明がわからない

一生懸命やってるのに、できないんだよ。ぼくはだめなんだ。

教室の勉強は難しい



支援員・サポーターによる日本の学校生活に適應するために(サバイバル期)

- 校舎、トイレ、給食
- 最低必要な日本語 (いい、だめ、なに、いたいなど)
- ルール (靴箱、ロッカー、机の中、給食、学習など)
- 起立礼
- ×の意味
- トラブルの予防: うそ、落ちている物

初期のサポート

- 物をそろえる (学習に必要な物)
- 教科書が分かるシール
- 担任へ 毎日の持ち物を伝えるカード

○日本語力、母語力、計算力のチェック

○初期のサポート計画(母語話者)

○日本語指導の計画(いどこでだれが)

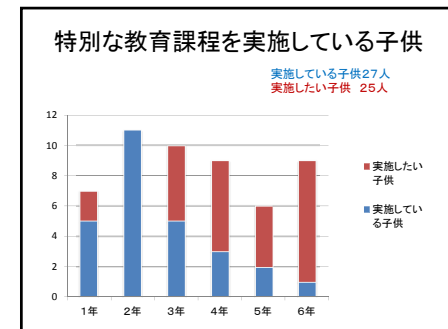
◎担任へ 配慮事項の伝達

初期日本語の指導

- 生活に必要な日本語
- 数字の読み方 + - =
- ひらがな

日本語指導と教科指導

- 日本語指導が終わったら教科指導というように段階的でなくよい
- 平行あるいは混合して行うことが可能
- 日本語指導に留意しながら、教科指導を行うと、効果的
 - 日本語と内容(教科など)の統合教育
 - 学習文脈から「ことば」を切り離さずに学ばせる = JSLカリキュラム



年齢相応の知識や考える力をつける

- 学習に慣れる 考える 覚える
- 語彙がたりない → 視覚情報で
- 該当学年の教材を学習しながら
- 学習に必要な言葉
- 学習に参加する自信

浜松市立南の星小学校 外国人児童支援・交流表

<校外との連携>	<校内の支援体制>	
浜松市立南の星小学校 小学生(45学級)による、小学校入学生への授業への参加指導(英語・英語)	在籍児童数 全校440人 外国籍児童83人 ブラジル 32人 インドネシア 10人 ベルギー 10人 中国 4人 ベトナム 3人 パプアニューギニア 3人 フィリピン 1人 外国につながる日本人児童18人 (45学級の外国人児童) 101人 (外国人児童の母国語) 37言語	南の星小学校教員 31人 5名外国人児童教育者5名 2人 数学実習員 1人 5名(5名)の協賛(金・米田・山田) 読書指導員 1人 5名(5名)の協賛(金・米田・山田)
地域の連携 ・浜松市立南の星小学校から 外国人児童	協賛実習員 指導員4人 読書指導員 5名 (金・米・山田)	
浜松特別支援学校の交流	協賛実習員 指導員4人 読書指導員 5名 (金・米・山田)	
産業医科大学との協働実習	協賛実習員 指導員4人 読書指導員 5名 (金・米・山田)	
特別に選んでの取組 ・外国人児童の 実習実習	協賛実習員 指導員4人 読書指導員 5名 (金・米・山田)	

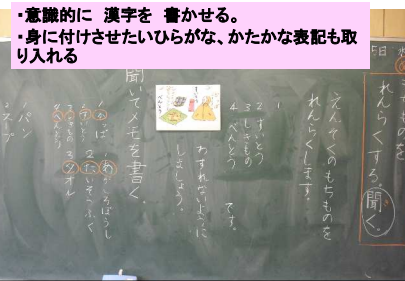
加配教員による取り出し授業



指導の実際(1年JSL国語)
「はなのみち」



2年JSL国語「ともさんはどこかな」



1年JSL算数「いくつといくつ」



自作教材の作成・1年生教材の活用



1年JSL国語「むかしはなしがいっぱい」



動作化で理解を助ける



4年JSL国語「ごんぎつね」 示す言葉の量を調整する

まとめの文型を示す

理解に必要な言葉は絵や実物で

言葉の意味を視覚的に理解させる

5年JSL国語「三つのお願い」

市販教材の活用

身の回りの物を教材に

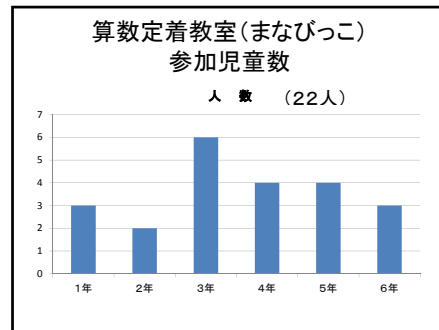
「なにがありますか。なにがあります。」

たんぼのちえ

ルビフリ教科書

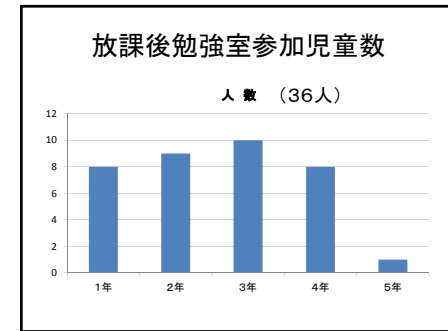
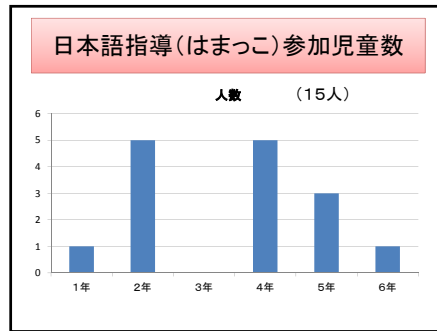
リライト教材
日本語レベルや指導目標に合わせてやさしく書き直した教材

算数定着教室(まなびっこ)
取り出し指導 月～金 午前 指導員4人



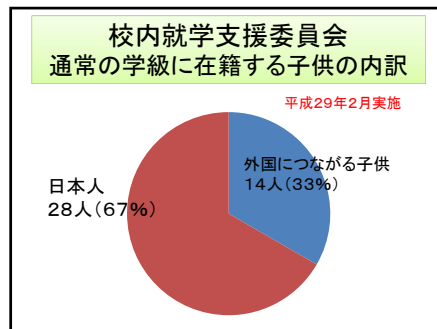
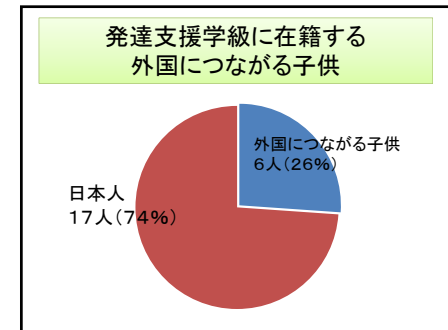
浜松市教育委員会委託のNPOによる日本語指導(はまっこ)

週2時間 火・木・5・6校時



課題

- 日本語力の把握と結果の活用
DLA(Dialogic Language Assessment)の実施
- 在籍学級における支援の工夫
学級担任との連携
- 発達に課題をもつ児童の指導



- ### 浜松の就学・発達相談の流れ (小学校入学まで)
- ①支援が必要と思われる子供の調査(幼稚園等)
 - ②専門調査
 - ③浜松市就学支援委員会で一人一人の教育的ニーズの検討
 - ④継続相談
 - ⑤発達支援学級入級願
- ※自閉症・情緒障がい発達支援学級への入級には「診断書」が必要
- ⑥発達支援学級入級承認書送付

- ### 浜松の就学・発達相談の流れ (小学校在籍後)
- ①保護者からの申し出
 - ②教育委員会が調査
 - ③専門調査員による子供観察
 - ④浜松市就学支援委員会
 - ⑤就学相談(保護者・担任・コーディネーター等)
 - ⑥体験入級
 - ⑦発達支援学級入級承認申請書提出


通常の学級に在籍後に 発達支援学級に入級した事例

口頭で

課題

- 4 保護者の子供理解と発達支援教育への理解
 - ①子供理解が不十分
やればできる・・・
 - ②発達支援学級の理解が不十分
パカな子の学級・・・
 - ③保護者との連携における言葉の壁
 - ④保護者の理解が深まらない原因は？

保護者への支援
<外国人保護者会> 講話
H25 「ペアレント・トレーニングで
学ぶほめ方講座」
浜松市心の診療所
臨床心理士 渡邊 佳さん



保護者への支援
<外国人保護者会>
H26

講話「日本の高校に進学するために
—保護者の心構えと準備—」
講師 谷丸 アンナ さん



<外国人保護者会>
H26

「歯の病気」
本校養護教諭



保護者への支援

進学ガイダンス

講話「わたしの体験」
瑞穂小支援員
具志堅 リリアン 直美さん

N-POCKET
名幸ハルミさん



ご清聴ありがとうございました。